

令和6年度  
ながさき地域医療人材支援センター  
長崎県離島・へき地医療支援センター  
事業報告書

長崎大学病院  
地域医療支援センター

## 1. スタッフ

センター長 浜田 久之（～R06.12）

大坪 竜太（R07.1～）

医 師 渡邊 毅

医 師 塩田 純也

医 師 木谷 聡一郎

事 務 山下 和孝

事 務 江川 真美

事 務 前畑 文香

## 2. ながさき地域医療人材支援センター委託業務内容

### (1) 医師不足状況等の把握・分析に関すること

県内の医師不足状況や地域偏在等を把握・分析するため調査事業を実施  
地域医療を志向する医師の情報収集や蓄積

近年、長崎大学への入局者数は徐々に減少している一方で、地域医療従事義務を有する養成医は増加傾向にある。現在、長崎県で専門研修を開始する3年目医師の約4人に1人が養成医であり、今後は年間20名以上の養成医が輩出される見込みである。このまま地域医療従事義務を持たない長崎大学入局者が減少し続けた場合、3人に1人以上が養成医となる可能性もある。

これまで地域医療に従事してきた自治医科大学卒業生については、従事期間終了後に長崎県内に定着しない印象があったが、その実態は明らかではなかった。そこで今回、自治医科大学卒業生に加え、長崎大学地域B枠入学生の進路についても調査を行った。

地域B枠においては、まだ9年間の地域医療従事義務を終えた者はいないものの、離脱率が20%を超えており、将来的な県外流出が懸念される。また、自治医科大学卒業生の従事期間終了後における県内残留率は40%未満と低く、深刻な課題といえる。長崎大学への入局者数を回復させる努力は引き続き重要であるが、同時に、長崎県の医療人材を確保するうえで、地域B枠や自治医科大学卒業生の県外流出を防ぐことも極めて重要である。そのためには、離脱や流出の要因を明らかにし、養成医が将来的に長崎県内で活躍できるよう、キャリア支援を含めた個別の対応や、継続的な教育体制の構築が求められる。

### (2) 医師不足病院への支援に関すること

登録医等を大学・中核・へき地等の病院を循環させながら、医師のキャリア形成支援を図るとともに、医師不足病院へ斡旋・紹介する。また、大学の人事配置等を決定する会議等に、ながさき地域医療人材支援センターが参画し、関与する。

#### (ア) 医師不足病院に対する診療援助

令和6年度は、離島・へき地の公的病院からの依頼なし

#### (イ) 医師不足病院に係る医師の斡旋・医療機関見学

【資料1】

##### 〈実績〉

見学3名（長崎県上五島病院2名、国民健康保険平戸市民病院1名）

（令和5年度 見学2名）

##### 〈成果〉

成立2名（長崎県上五島病院1名、国民健康保険平戸市民病院1名）

（令和5年度 成立1名）

(ウ) 医師募集説明会

【資料2】

8月25日(日) Web 説明会 長崎大学病院

Web 説明会参加者：2名

事務局等出席者：大坪副センター長、山下、江川

県庁：富田係長

自開協：田中事務局長

9月28日(土) Web 説明会 長崎大学病院

Web 説明会参加者：1名

対面参加者：1名

事務局等出席者：大坪副センター長、山下、江川

県庁：富田係長

自開協：田中事務局長

(令和5年度 参加者7名(9/10 Web4名、10/15 Web3名))

(エ) 医師からの求職等の相談

【資料3】

相談件数 63件

(令和5年度 67件)

(オ) 面談医師数

14名 (見学时9名、Web 説明会時4名、その他1名)

(令和5年度 16名)

(カ) 地域医療継続支援事業

全国的に若手医師の都市部への偏在傾向があり、医師不足、医師の高齢化も問題となっている。本件においても例外ではなく医師確保が喫緊の課題である。本県にゆかりのある県外在住の医師にアプローチを行いU・I・Jターン就職の働きかけを行うとともに、地域医療を担う医師の確保に繋げ、県内の医療体制を確保することを目的とする。

- ・過年度3回のアンケート調査を実施し、情報提供を希望される医師・学生に対する情報提供

平成30年3月の情報提供希望者 9名

令和2年4月の情報提供希望者 8名

令和5年12月の情報提供希望者 9名 に情報提供

- ・公的医療機関の医師募集一覧
- ・地域の情報に関する冊子(平戸市編)
- ・承継情報のHP掲載

【資料4】

令和元年12月より医師会の承継情報を提供頂き、当センターHPに掲載開始し、毎月

更新した。

(キ) ながさきキャリア・デベロップメント支援事業

専門医として医療に携わってきた中堅医師～ベテラン医師が、不安なく、地域を“幅広く総合的に診る”ことができるように、総合診療医へのキャリア・デベロップメントを支援する。

〈PR〉

- ・各種学会展示ブース、ならびに診療所見学の際に説明する。

〈成果〉

- ・本年度1名（平戸市立大島診療所常勤医師—小児科研修）

(3) 医師の派遣事務に関すること

関係機関と協力しながら、医師不足の区域等に医師を派遣する計画案を作成する。

(ア) 長崎県の医師の需給に関する長崎県と病院企業団と長崎大学との会議 【資料5】

① 目的

県民の医療を守るため、離島やへき地の医師の需給問題を実質的かつ具体的に話し合うこととする。

② 会議

年2回予定

③ 委員

大学：尾崎病院長、池松医学部長、迎第二内科長（第1回）、前村循環器内科長（第2回）、江口移植・消化器外科長、西野副院長、浜田教授

病院企業団：八橋企業長、八坂院長

県：新田部長、岩崎次長、坂本室長

④ 事務局

地域医療支援センター

- ・令和6年度第1回医師需給に関する三者会議

日時：令和6年7月29日（月）13：30～15：00

場所：大学病院シミュレーションセンター

- ・令和6年度第2回医師需給に関する三者会議

日時：令和7年2月6日（木）17：00～18：30

場所：大学病院多目的研修室及びWeb

(4) 医師のキャリア形成支援に関すること

地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援への取組

(ア) 医学文献複写サービスの提供

依頼件数 22 件（文献総数 34 件）

（令和5年度 依頼件数 14 件（文献総数 22 件））

(イ) 長崎県における総合診療専門医の育成・支援に関する長崎県総合診療専門医養成連携プログラム推進事業

① 総合診療専門医養成推進委員会

【資料 6】

総合診療医を育成支援する長崎県版モデルプログラムを有効活用するための体制作り並びに活用推進の方策及び連携プログラムに参加する後期研修医を増やすための方策の具体案を検討する。

活動状況

第 1 回委員会：令和6年8月7日（水）18：30～20：00

- ・令和6年度事業計画（ポートフォリオ研修会、ウイメンズヘルスケア研修会、医学生の総合診療セミナー）

第 2 回委員会：令和7年2月14日（金）18：30～20：00

- ・令和6年度事業報告（ポートフォリオ研修会、ウイメンズヘルスケア研修会、長大総診レジデントセミナー、医学生の総合診療セミナー）
- ・令和7年度事業計画の検討

② 指導医・専攻医のためのセミナー

【資料 7】

指導医が専攻医や研修医、医学生に適切な指導を行うための研修を行う。

・第 11 回ポートフォリオ研修会

令和6年11月9日（土）

講師：金子 惇 先生 横浜市立大学

参加者：指導医 11 名、専攻医 9 名

・第 12 回ポートフォリオ研修会

令和7年3月15日（土）

参加者：指導医 15 名、専攻医 8 名、研修医 2 名、医学生 4 名、その他 1 名

・ウイメンズヘルスケア 2024for 長崎

令和6年12月21日（土）

講師：水谷 佳敬 先生 わかばファミリークリニック

参加者：指導医 4 名、専攻医 7 名、医師 4 名、看護師 1 名

・レジデントセミナー

第 1 回 長崎大学病院 国際医療センター会議室

令和6年11月8日(金)

講師：神谷 崇文 先生 美しが丘じんぼ皮膚科

参加者：指導医5名、専攻医1名、医師4名

第2回 Web

令和6年12月5日(木)

講師：神谷 崇文 先生 美しが丘じんぼ皮膚科

参加者：指導医6名、専攻医1名、医師3名

③ 医学生のためのセミナー

【資料8】

- ・第14回 試験に役立つ介護保険

令和6年10月17日(木)

講師：中桶 了太 先生 平戸市民病院

参加者：指導医4名、学生2名

- ・第15回 長崎県の離島医療

令和7年1月29日(水)

講師：一宮 邦訓 先生 長崎県上五島病院

参加者：指導医4名、学生5名

④ 地域卒学生生活動支援事業

【資料9】

長崎大学医学部地域卒学生が、長崎県の医療ニーズや医師のライフスタイルを学んでもらうために、指導医らと意見交換し、県内での地域医療に従事するためのモチベーションを高める。

令和6年度地域卒活動報告会

テーマ：あなたが考える理想の人生は？

日時： 第1日目…令和6年10月11日(金) 17:00~19:00

第2日目…令和6年10月18日(金) 17:00~19:00

内容：

第1日目講師

品川博光先生(2019年卒、壱岐病院)

押淵素子先生(1999年卒、押淵医院)

第2日目講師

山下彩先生(2015年卒、長崎大学病院)

⑤ 長崎県内で働く医師を増やすための研修事業

【資料10】

(i) 医学生地域見学実習

医療系学生が短期滞在型の地域見学を行う。

〈実績〉

見学者481名 (1週間見学276名、4週間見学205名)

離島医療・保健実習(1週間) 131名

地域病院実習(1週間) 145名

高次臨床実習（4 週間） 205 名  
（令和5年度 見学者 646 名 （1 週間見学 240 名、4 週間見学 406 名））

(ii) 離島医療教育研究会

実習に参加した学生のアンケート結果を指導者にフィードバックし、離島医療教育の現状と課題を議論する。

・令和6年度離島医療教育研究会

日時：令和7年3月3日（月） 18：30～19：30

場所：長崎大学医学部（zoom 開催）

講演：長崎県地域医療の医局長役として持続可能な地域医療支援システムを構築する」

ながさき地域医療人材支援センター センター長 大坪 竜太 医師

（令和5年度 3/18 教育研究会 Web 開催）

(ウ) 長崎県後期研修プログラム構築推進事業

①説明会

・「ALL 長崎病院説明会」

開催日： 令和7年2月1日（土）

会 場： 長崎大学病院 参加者：93 名

②専攻医登録システム「キャリアシステム」

令和元年度より専攻医の登録作業を各基幹施設で実施している。

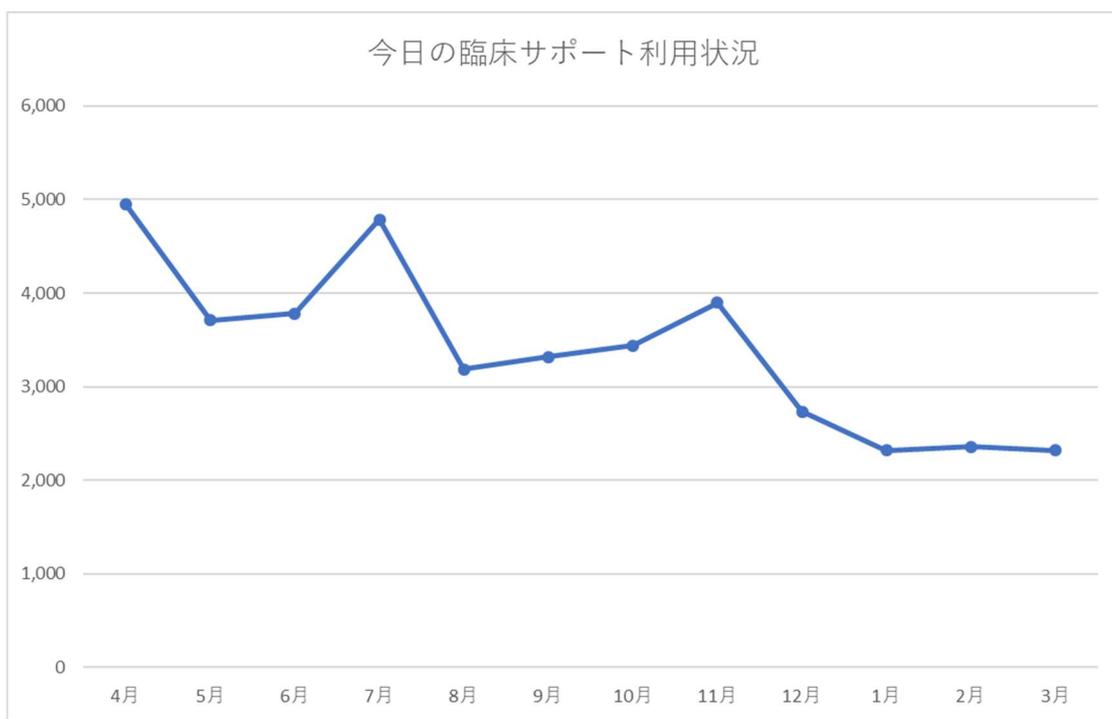
令和6年度新規登録：85 名

(i) 長崎大学病院	66 名
(ii) 上戸町病院	1 名
(iii) 長崎医療センター	13 名
(iv) 佐世保市総合医療センター	1 名
(v) 長崎県上五島病院	1 名
(vi) 長崎みなとメディカルセンター	1 名
(vii) 長崎県精神医療センター	2 名

（※令和5年度 長崎県内登録者 90 名）

③EBM ツールの利用

キャリア形成支援目的で、専門研修プログラムやキャリア形成支援利用登録を行った医師に、EBM ツールを提供して長崎県内での定着に繋げる。



年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年度	4,953	3,707	3,783	4,788	3,185	3,317	3,440	3,899	2,732	2,319	2,358	2,318

(工) 新専門医制度に対応した専攻医確保事業

専門研修見学等旅費助成事業

【資料 11】

県内病院見学及び医局説明会への参加者累計 90名

見学先別累計：長崎大学病院 75名、長崎医療センター 8名、

長崎県上五島病院 3名、平戸市民病院 1名、

長崎県精神医療センター 1名、佐世保市総合医療センター 1名

小島居諫早病院 1名

旅費助成の対象者：55名

〈成果〉

長崎県内プログラム採用数 15名 (33%/研修医2年次以降見学者 46名)

採用施設：長崎大学病院 14名、長崎医療センター 1名

(令和5年度 長崎県内プログラム採用数 9名 (71%))

採用施設：長崎大学病院7名、長崎医療センター2名)

(5) 医師のキャリア形成支援・負担軽減に関すること

長崎県が養成した医師若しくは同制度による医学生及び地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安を解消するための取組を行う。また、医師の派遣先となる医療機関の勤務環境の改善が図られるよう、医療勤務環境改善支援センターと連携を行う。

(ア) 医学生に関して

- ① 夏季 WS：1年から3年 令和6年8月16日-17日 彦根市  
4年から5年 8月7日-10日 対馬・上五島・五島・島原で病院見学  
実習を分散開催、8月16日-18日 彦根病院で病院見学実習を開催
- ② 冬季 WS：令和7年3月8日-9日 県庁  
1年から5年 WSならびに先輩医師との意見交換を実施した。
- ③ 6年生マッチング関係面談  
7-8月 面談（対面もしくはWeb：23名中21名に実施）
- ④ 川崎医大面談、講義  
令和6年10月1日 面談（対面：22名に実施）  
10月2日 講義（1年生の長崎県以外の地域卒学生を対象、長崎県の地域医療に関して）

(イ) 研修医に関して

- ① 1年目：  
令和6年12月3日 2年次のスケジュール等の説明（対面：長崎医療センター）

(ウ) 義務期間中の養成医に関して

- ① 五島地区：令和6年11月13日 7名面談実施
- ② 対馬地区：令和6年10月30日-31日 18名面談実施（夏季休暇2名）
- ③ 上五島地区：令和6年10月23日 6名面談実施（夏季休暇5名）
- ④ 彦根地区：令和6年11月7日 4名面談実施

(6) 求人情報の発信及び相談対応に関すること

(ア) 各種学会でのブース開設等による医師募集活動

学会名	開催日	会場	来訪者数
第15回プライマリ・ケア連合学会学術集会	6/8~9	静岡県浜松市 アクトシティ浜松	74
第56回日本医学教育学会	8/9~10	東京都板橋区 帝京大学板橋キャンパス	36
第52回日本救急医学会総会・学術集会	10/13~15	宮城県仙台市 仙台国際センター	49
JDDW 2024 Kobe 第32回日本消化器関連学会週間	10/31~11/2	兵庫県神戸市 神戸コンベンションセンター	60
第52回日本集中治療医学会学術集会	3/14~16	福岡県福岡市 マリンメッセ福岡	138

		計	357名
--	--	---	------

(イ) 医療情報誌等への医師募集及び医師募集説明会の広告掲載

【資料12】

① 医師募集 Web 説明会の広告掲載

- ・日本医事新報（9回、6月～9月）
- ・レジデントノート（3回、7月～9月）
- ・総合診療（3回、6月～8月）
- ・メディカルトリビューン（5回、7月～9月）
- ・長崎医学同窓会会報誌（1回、7月）
- ・防衛医科大学同窓会誌（1回、7月）

② 医師募集の広告掲載

- ・日本医事新報（16回、5～6月・10月～3月）
- ・レジデントノート（4回、10月～12月、2月）
- ・総合診療（3回、10月～12月）
- ・メディカルトリビューン（5回、11月～1月）
- ・月刊地域医学（7回、9月～3月）
- ・防衛医科大学同窓会誌（1回、12月）
- ・JATEC 長崎コースパンフレット（1回、11月）

(ウ) 求人情報サイトによる情報発信

【資料13】

① 医師募集 Web 説明会の広告

- ・e-doctor メルマガ（3回、7月～9月）

② 医師募集の広告

- ・e-doctor メルマガ（3回、12月～2月）

## 長崎県離島・へき地医療支援センター委託業務内容

専任医師：大坪竜太

- (1) 代診医の診療派遣、斡旋等の連絡調整に関すること 【資料14】  
診療所医師が学会出席や休暇取得などによる不在となる場合に要請を受け、専任医師の派遣又は“しますけっと団”による代診医の斡旋を行う。

＜代診、診療応援＞

派遣・斡旋件数 92件、日数 324日

(令和5年度 派遣・斡旋件数 85件、日数 380日)

- (2) 県内離島診療所への常勤医師の斡旋・紹介に関すること 【資料1】

〈実績〉

見学6名（延べ11施設：佐世保市子ども発達センター診療所、西海市江島診療所・松島診療所、五島市玉之浦診療所、佐世保市総合医療センター宇久診療所、対馬市豊玉診療所 ※複数施設見学ケースあり）

(令和5年度 見学7名、延べ12施設)

〈成果〉

成立3名（佐世保市子ども発達センター診療所、対馬市豊玉診療所、西海市江島診療所）

(令和5年度 成立5名)

- (3) 離島・へき地の医師募集に関すること

相談対応に関しては「2(2)(ウ)～(オ)」、情報発信に関しては「2(6)」を参照